

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社HIROSE増築工事	階数	地上4F
建設地	綾瀬市早川字上原2696番12	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火指定なし	平均居住人員	80人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,607時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年12月 予定	評価の実施日	2021年12月9日
敷地面積	1,127 m <sup>2</sup>	作成者	佐野建築設計室
建築面積	569 m <sup>2</sup>	確認日	2022年1月7日
延床面積	2,248 m <sup>2</sup>	確認者	佐野建築設計室



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

② 建築物の取組み: 84% (38 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③ 上記+②以外の: 84% (38 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④ 上記+: 84% (38 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	N.A.
耐用性	2.9
対応性	3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.1

生物環境	1.0
まちなみ	1.0
地域性	1.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

建物外皮の	N.A.
自然エネ	3.0
設備システ	4.3
効率的	2.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	3.0
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.6
地域環境	2.8
周辺環境	3.0

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
東名高速道路の綾瀬インターまで10分の工業専用地域に、工場単一用途(又は事務所・工場の複合用途)の工場をS造・4階にて計画をした。	特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 評価対象外とする。	<b>Q2 サービス性能</b> 階高にゆとりを持たせるなど、特に対応性・更新性に配慮した。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特になし。	
<b>LR1 エネルギー</b> BEIm=0.67、LED照明設備を導入している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 特になし。
	<b>LR3 敷地外環境</b> 特になし。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される